

**令和4(2022)年度**

# **事業計画書**

**公益財団法人 群馬県長寿社会づくり財団**

# 令和4年度 事業計画

## 〈事業展開の基本方針〉

令和4年1月1日現在の群馬県の総人口は、約192万2千人で前年よりも14,500人ほど減少し、令和2年(2020)の国勢調査では65歳以上の割合(高齢化率)が初めて3割を超え、引き続き少子高齢化の加速が予想されています。

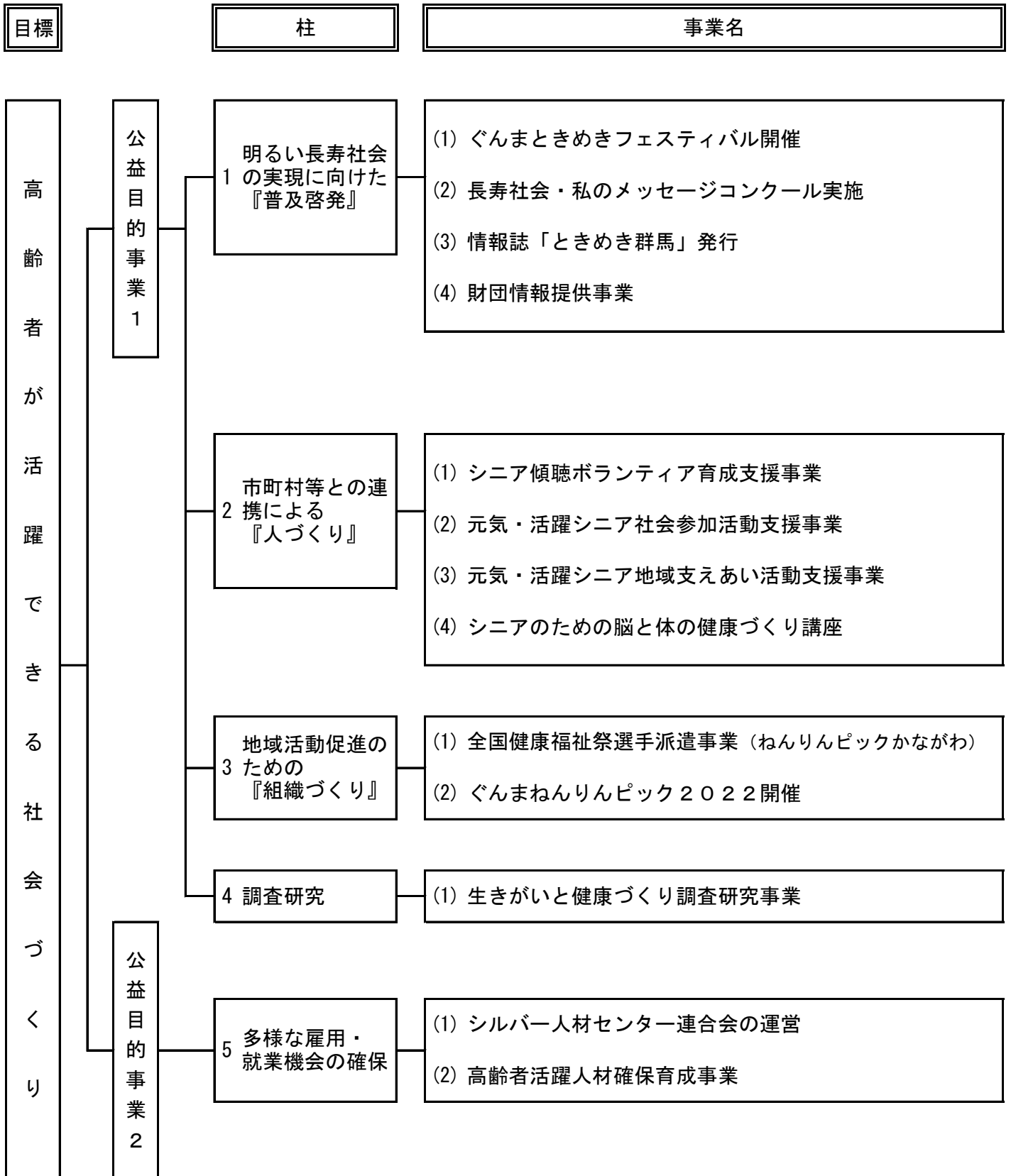
さらに、日本の地域別将来推計人口(平成30年推計)では令和22年(2040)には高齢化率が37.7%に上昇することが見込まれ、医療や介護の需要の高まりが懸念されますが、一方で8割以上の高齢者は介護などの支援を必要としない元気な方々です。

人生100年時代を迎えた現在、高齢者自身が地域社会の中で社会的役割を担う主体となり、自らの経験、知識、意欲を活かし、趣味や余暇活動、学習、ボランティア、就労など多様な「活躍の場」を通じて社会参加を続けていくことが健康寿命の延伸や地域の活性化につながります。

しかしながら、長引くコロナ禍で、感染を恐れ外出や交流を控える高齢者が増加し、元気に過ごしていた人ほど心身機能が低下するリスクが高まると懸念されています。フレイルなどの健康二次被害から高齢者を守るには、正しく感染予防をしながら体を動かし、人とコミュニケーションをとれる環境を整え、健康寿命の延伸に向けた取り組みを進めていくことが重要な課題です。

群馬県長寿社会づくり財団では、「高齢者が活躍できる社会づくり」を目標に掲げ、高齢者の自主的な社会参加、雇用・就業及び能力活用、高齢者の生きがいと健康づくりを推進するため、「普及啓発」、「人づくり」、「組織づくり」、「調査研究」、「多様な雇用・就業機会の確保」の5つの柱に沿って、市町村や市町村社会福祉協議会など関係機関・関係団体との協働による事業実施を推進するとともに、群馬県と一体となって明るい長寿社会の実現に向けて引き続き取り組んでまいります。

# 令和4年度 事業体系



# 1 明るい長寿社会の実現に向けた『普及啓発』

## (1) 第31回ぐんまときめきフェスティバル開催 [予算額 3,554千円]

シニア世代の社会参加と生きがいを推進するため美術展、短歌大会を開催し、日頃の創作活動の成果を発表する機会を設けるとともに、高齢社会を共に考える機会とするための講演会を実施します。

なお、美術展は全国健康福祉祭美術展の本県代表作品選考会を兼ねています。

ア 開催日 3/11(土)～13(月) 3日間

イ 場所 ベイシア文化ホール(前橋市日吉町)他

ウ 内容

(ア) ときめき美術展(日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真)

(イ) ときめき短歌大会

(ウ) ときめき講演会

エ 参加者数 2,000人

## (2) 長寿社会・私のメッセージコンクール実施 [予算額 693千円]

明るく活力のある長寿社会に向けての気運を盛り上げるため、小学生からシニア世代までの方々に、長寿社会について感じたこと、地域活動、就業等を通じて感じたことや豊かで明るく生活することについて考えたことをメッセージとして募集し、優秀作品を選考のうえ公表します。

ア 募集期間 6月～9月上旬

イ 表彰式 3/11(土)

ウ 場所 ベイシア文化ホール(前橋市日吉町)

エ 参加者数 2,000人

## (3) 情報誌「ときめき群馬」発行 [予算額 2,061千円]

シニア世代の生きがいをづくり、健康づくり及び社会参加に関する情報や、個人、団体及び財団の事業内容を紹介した情報誌を作成し、市町村等関係機関などに配布することにより、明るく活力のある長寿社会の実現に向けて意識啓発を図ります。

ア 規格 A4判 16ページ(夏、冬号)、24ページ(春号)、フルカラー

イ 配布部数 各号12,500部(年3回)

ウ 配布先 県、市町村、公民館等

(4) 財団情報提供事業 [予算額 350千円]

ホームページやSNSを多用しながら、従来のPR用パンフレットと併せ市町村や県民へ当財団の事業内容を適時提供します。

ア 内容

- (ア) PR用パンフレット「事業案内ときめき」(詳細版)作成 4,000部
- (イ) ホームページ更新 当財団の概要及び事業等の情報の更新の他、財団 YouTubeチャンネルによる情報発信
- (ウ) Twitter アカウントの運営 新着情報、募集情報、事業報告の配信
- (エ) 市町村等関係団体との事業連携についてアンケートの実施
  - ・内容 当財団事業の協働実施について
  - ・送付先 市町村、市町村社協、各地域包括支援センター、公民館、シルバー人材センター
- (オ) バナー広告及び Twitter 周知のちらし作成

## 2 市町村等との連携による『人づくり』

(1) シニア傾聴ボランティア育成支援事業 [予算額 750千円]

悩みを持つ人の話し相手となり、自分自身で悩みを克服できるよう手助けを行う傾聴ボランティア活動を支援するため、養成講座及びスキルアップ講座を開催するとともに、情報提供を行います。

ア 養成講座

(ア) 会場名(連携先)、開催日、場所、定員

- a 中之条会場(中之条町社会福祉協議会・東吾妻町社会福祉協議会・高山村社会福祉協議会)、6/7(火)・14(火)、バイテック文化ホール
- b 吉岡会場(吉岡町社会福祉協議会)、9/8(木)・15(木)  
吉岡町文化センター
- c 高崎会場(高崎市社会福祉協議会)、10/21(金)・28(金)  
高崎市社会福祉総合センター

(イ) 定員 各30名

イ スキルアップ講座

(ア) 会場名(連携先) 開催日、場所、定員

- a 渋川会場(渋川市社会福祉協議会)、7/15(金)、渋川ほっとプラザ
- b 高崎会場(高崎市社会福祉協議会)、1/17(火) 高崎市社会福祉総合センター

(イ) 定員 各30名

ウ 情報提供

市町村及び社会福祉協議会と連携し、傾聴ボランティア活動の情報を収集し提供します。また、傾聴ボランティアグループ一覧を作成、講座修了者へ配布し、グループへの参加及びボランティア活動を促します。

(2) 元気・活躍シニア社会参加活動支援事業 [予算額 1,393千円]

仕事中心の生活から地域中心の生活に移行するシニア層が、退職後も健康で社会とのつながりを維持できるように、シニアが興味・関心を持ち、仲間づくりや社会参加に役立つ講座を開催します。

また、シニアグループの情報提供やマッチングを行い社会参加活動を支援します。

ア チェアヨガ講座

ヨガ初心者でも安全かつ効果的に行える椅子に座って行う「チェアヨガ」について学び、フレイル予防に役立てます。

(ア) 会場名 (連携先)、開催日、場所

a 渋川会場 (渋川市)、6/16 (木)・17 (金)、渋川市赤城公民館

b 邑楽会場 (邑楽町)、7/11 (月)・12 (火)、邑楽町役場

(イ) 定員 30名

(ウ) その他 渋川会場の参加者は関係者となります。

イ ウォーキング講座

ウォーキングの正しい歩き方を学び、ウォーキングを習慣づけることで、健康寿命の延伸に役立てます。

(ア) 会場名 (連携先)、開催日、場所

a 板倉会場 (板倉町)、11/1 (火)・8 (火)、板倉町B&G海洋センター

b 藤岡会場 (藤岡市シルバー人材センター)、2/21 (火)・28 (火)、  
藤岡市総合学習センター体育館

(イ) 定員 30名

ウ 美味しいコーヒーの淹れ方講座

退職後の男性を地域に呼び込むための1つのきっかけとして美味しいコーヒーの淹れ方を学び、コーヒーをきっかけに地域の繋がりや交流の輪をひろげることを目的とし、居場所づくりを支援します。

(ア) 会場名 (連携先)、開催日、場所

a 東吾妻会場 (東吾妻町社会福祉協議会)、9/22 (木)・29 (木)  
東吾妻町中央公民館

b 嬭恋会場 (嬭恋村教育委員会)、10/24 (月)・25 (火)、嬭恋会館

c 高崎会場 (高崎市新高尾公民館)、日程未定、高崎市新高尾公民館

(イ) 定員 20名

エ アクティブシニアのためのSNS活用講座

シニア世代が仲間づくりや地域とのつながりの新たな手法としてSNSを活用し、社会参加活動へと結びつくように、SNSの仕組み及び利用方法を習得します。

(ア) 基礎コース 会場名 (連携先)、開催日、場所

a 富岡会場 (富岡市シルバー人材センター)、7/4 (月)、富岡市勤労者会館

b 定員 30名

(イ) 実践コース 会場名 (連携先)、開催日、場所

a 桐生会場 (桐生市)

7 / 25 (月)・27 (水)・8 / 1 (月)・3 (水)、美喜仁桐生文化会館

b 定員 20名

オ シニアのeスポーツ講座

指先を使うことで認知症予防にも期待できる“eスポーツ”を通じ、健康寿命の延伸に役立っています。

(ア) 会場名 (連携先)、開催日、場所

a 太田会場 (太田市社会福祉協議会太田市ボランティアセンター)、6 / 10 (金)  
太田市ボランティアセンター

b 吉岡会場 (吉岡町)、9 / 13 (火)・10 / 4 (火)、吉岡町地域福祉交流施設

c 太田会場 (太田市シルバー人材センター)、12 / 8 (木)、新田勤労会館

(イ) 定員 10名

カ シニアグループの登録

活動支援、情報提供 (ホームページに掲載)、関係団体との連絡調整

キ 貸出 軽スポーツ用具などを無料で貸出を行います。

(ア) 健康マージャン道具

(イ) eスポーツゲーム機材

(ウ) 軽スポーツ用具 (スカイクロス、ペタンク)

### (3) 元気・活躍シニア地域支えあい活動支援事業 [予算額 289千円]

元気な高齢者の社会参加及び地域の支えあい活動の担い手としての活躍を推進する一方で、要支援者の増加を抑制し、高齢者が元気でいつまでも社会との関わりを持つことができる、明るく活力のある長寿社会の実現を目指し、介護予防推進のボランティア活動等に役立つ実用的な講座を開催します。

ア 福祉レクリエーション講座

ホスピタリティやアイスブレイキングの理念を取り入れ、手遊びや集団ゲームなどを用いて高齢者の方と良好なコミュニケーションづくりに役立てる方法について学びます。

(ア) 会場名 (連携先)、開催日、場所

前橋会場 (前橋市)、8 / 2 (火)・9 (火)、前橋市中央公民館

(イ) 定員 20名

イ 若返りリトミック講座

音楽を楽しみながら心身の若返りと認知症予防を目的にしたメソッドを使いながら、「あたま」「こころ」「からだ」の3つの若返りの手法とその効果を習得します。

(ア) 会場名 (連携先)、開催日、場所

玉村会場 (玉村町公民館)、5 / 19 (木)、玉村町文化センター

(イ) 定員 30名

ウ タッピングタッチ講座

両手を使って肩や腰・頭などの部分を、左右交互のリズムでタッチしていくことで、不安、緊張などを和らげ、よりよいコミュニケーションが図れるようになる手法とその効果を習得します。

(ア) 会場名 (連携先)、開催日、場所

玉村会場 (玉村町公民館)、8 / 3 1 (水)、玉村町文化センター

(イ) 定員 30名

エ リラクゼーション講座

マスク生活による顔周りの緊張をほぐすマッサージやリフレッシュを目的としたセルフマッサージの手法と効果を学びます。

(ア) 会場名 (連携先)、開催日、場所

伊勢崎会場 (伊勢崎市社会福祉協議会)、6 / 2 9 (水)・7 / 6 (水)  
伊勢崎市社会福祉会館

(イ) 定員 30名

(4) シニアのための脳と体の健康づくり講座 [予算額 101千円]

誰もが迎える高齢期を健やかに過ごすために必要な知識・技術を身につけ、健康づくりに役立てるとともに、講座で学んだ健康づくりのための運動を日常生活で継続して行うことで健康寿命の延伸を目指します。

ア 会場名 (連携先)、開催日、場所

(ア) 板倉会場 (板倉町)、5 / 2 5 (水)・6 / 1 (水)、板倉町中央公民館他

(イ) 前橋会場 (前橋市)、11 / 2 1 (月)・2 5 (金)、前橋市中央公民館

イ 定員 板倉会場：20名、前橋会場：30名

### 3 地域活動促進のための『組織づくり』

(1) 全国健康福祉祭選手派遣事業 [予算額 4,161千円]

シニア世代を中心とする国民の健康の保持・増進、社会参加、生きがいの高揚等を図り、ふれあいと活力のある長寿社会の形成に寄与するために開催される「第34回全国健康福祉祭 神奈川・横浜・川崎・相模原大会 (ねんりんピックかながわ2022)」に群馬県選手団を派遣します。

ア 開催期間 11 / 1 2 (土) ~ 1 5 (火) 4日間

イ 場 所 神奈川県内各地

ウ 選 手 団 120人

エ 参加種目 31種目

卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、ペタンク、ゴルフ、マラソン、



弓道、剣道、水泳、グラウンド・ゴルフ、オリエンテーリング、ラグビーフットボール、サッカー、ソフトバレーボール、なぎなた、ウォークラリー、太極拳、軟式野球、ターゲット・バードゴルフ、バウンドテニス、ダンススポーツ、パークゴルフ、インディアカ、スポーツウェルネス吹矢、サーフィン、スポーツチャンバラ、囲碁、将棋、健康マーじゃん

(2) **ぐんまねりんピック2022開催** [予算額 3,027千円]

スポーツや文化活動を通じて、シニア世代の健康の保持増進と交流、生きがいづくりを推進するため開催します。

ア 開催日 10/19(水)・20(木)

イ 場所 ALSOKぐんま総合スポーツセンター他

ウ 参加者数 2,000人

エ 競技種目 17種目

ゲートボール、卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、剣道、弓道、グラウンド・ゴルフ、マラソン、水泳、ソフトバレーボール、ペタンク、なぎなた、太極拳、囲碁、将棋、健康マーじゃん

## 4 調査研究

(1) **生きがいと健康づくり調査研究事業** [予算額 451千円]

当財団の事業参加者を対象に、シニア世代の社会参加の実態についてアンケートを行い、社会参加が健康長寿や生きがいにつながる実態についてまとめ、公表します。

ア 調査時期 8月～9月

イ 調査対象 当財団事業参加者

ウ 調査方法 郵送による調査

エ 調査事項 健康状態、日常生活、社会参加活動の実態 他

## 5 多様な雇用・就業機会の確保

### (1) シルバー人材センター連合会運営 [予算額 906,102千円]

「自主・自立、共働・共助」を基本理念として、群馬労働局、群馬県並びに市町村と連携を密にして、県内各地において、シニアのための臨時的、短期的又は軽易な業務の就業機会の確保、提供を行っている市町村シルバー人材センターの取組を支援します。

#### ア 普及啓発事業 [予算額 6,626千円]

シルバー人材センター事業の理念・仕組み等を広く県民に周知するとともに、会員拡大と退会防止ため普及啓発事業を推進し、センター事業の活性化を図ります。

- ・内 容 ① 「シルバーの日（10月第3土曜日）」及び「普及啓発月間（10月）」の事業推進
- ② 情報誌「ときめき群馬」等を活用したセンター事業紹介
- ③ 各種イベント等でのセンター事業紹介
- ④ リーフレット等普及啓発資料の作成、配布
- ⑤ 県広報媒体、有料広告等による広報
- ⑥ ライフビューティー講座の開催
- ⑦ 24時間健康電話相談の実施

#### イ 安全・適正就業推進事業 [予算額 2,340千円]

シルバー人材センター事業の実施にあたっては、会員が高齢であることから、就業時の安全確保が重要となっています。特に事故が多発している作業について、安全就業対策の徹底を図るとともに、各センターの安全・適正就業意識の高揚を図り事故防止につなげます。

- ・内 容 ① 安全・適正就業委員会の開催 3回（6月、10月、2月）
- ② 安全・適正就業担当者研修会の開催（適宜）
- ③ センターが実施する安全・適正就業講習会に対する支援（随時）
- ④ 全センター（支所・連絡所含む）に対して安全・適正就業の巡回訪問を実施（6月～11月）
- ⑤ センターで実施する安全講習会への参加、指導
- ⑥ 事故の現地調査指導（原因分析～対策指導）
- ⑦ 重篤事故（潜在事故を含む）等の再発防止対策の実施促進
- ⑧ 安全・適正就業啓発資料の作成、配布
- ⑨ 安全大会の開催、11/2（水）、ベイシア文化ホール
- ⑩ 安全就業優良センターの表彰
- ⑪ 事故防止啓蒙活動の実施（安全だるまの設置、事故防止安全教育DVD視聴等）
- ⑫ 蜂刺され重篤事故に対する再発防止策の継続推進
- ⑬ 安全・適正就業事故防止策への取組（安全活動有効品の配布）

**ウ 就業開拓等事業**〔予算額 1,051千円〕

シルバー人材センター会員の経験、知識、技術、技能を活かせる仕事を確保、提供するため、シルバー人材センターが受注可能な仕事の開拓や新しい就業分野の開発・拡大を図ります。また、地域で活躍したいという意欲と能力のある高齢者に対し入会を促進し、会員拡大を図ります。

- ・内 容 ① 就業開拓等委員会の開催 2回（6月、2月）
- ② ブロック別会議の開催（1月）
- ③ 就業開拓及び適正就業推進巡回訪問の実施（7月～12月）
- ④ 就業開拓等の推進
- ⑤ 企業等への訪問によるシルバー事業紹介
- ⑥ 適正就業（法令遵守）の徹底
- ⑦ 独自事業の推進
- ⑧ 地域団体との連携
- ⑨ 就業開拓等啓発資料の作成、配布

**エ 交流研修事業**〔予算額 1,668千円〕

シルバー人材センター事業の円滑な運営及びセンター役職員の資質向上、活性化を図るため、各種研修を開催します。また、センターが会員を対象に実施する技能講習会に対して支援を行います。

- ・内 容 ① 役職員研修（7月）、群馬県社会福祉総合センター
- ② 職員研修（9月）、群馬県社会福祉総合センター
- ③ センターが実施する技能講習会に対する支援（随時）
- ④ センターの会員が有料講習を受講した場合、その受講料の半額又は1万円を上限に助成（随時）（新規）

**オ 指導相談事業**〔予算額 126千円〕

シルバー人材センター事業の適切な運営を図るため、（公社）全国シルバー人材センター事業協会と連携してセンターに対し指導を実施するとともに、センターからの相談に随時対応します。

**カ シルバー人材センターへの交付金の支出**〔予算額 200,851千円〕

シルバー人材センターの安定的運営のため、国庫補助金をシルバー人材センターへ交付します。

**キ 調査研究事業**〔予算額 1,150千円〕

シルバー人材センター事業を推進していくうえで有益な情報や資料等を収集・分析、先進地視察等を通じてシルバー人材センターとの情報の共有化を図ります。

**ク 高齢者職業紹介事業**〔予算額 76千円〕

臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務に係る雇用を希望する高齢者の多様なニーズに応えるため、職業紹介事業を実施します。

**ケ センター設置促進** 〔予算額 ー 〕

群馬労働局、群馬県及び関係町村と連携のもとシルバー人材センターの未設置地域の解消及び連合会への加入を目指します。

- ・未設置町村 草津町、川場村
- ・連合会未加入 榛東村、上野村

**コ シルバー派遣事業運営** 〔予算額 691,600千円〕

高齢者の就業機会の拡大につなげるため、従来からの請負や委任による働き方では対応できない業務など、多様な働き方が可能となる労働者派遣事業を更に推進します。

- ① 派遣事業担当者研修（9月）、群馬県社会福祉総合センター
- ② 教育訓練(随時)
- ③ シルバー派遣事業資料の作成・配布
- ④ シルバー派遣事業支援(4月～3月)

**サ 中・長期計画に係る目標値の策定** 〔予算額 ー 〕

令和5～9年度に向けた新たな目標数値を策定し、PDCAサイクルの目標管理による会員拡大、地域ニーズ、高齢者ニーズに沿った就業開拓を推進します。

**シ 小規模シルバー人材センター会議の開催（新規）** 〔予算額 14千円〕

14町村の小規模シルバー人材センター（非法人）を対象とした会議（意見交換会等）を開催します。

**ス 関東ブロックシルバー人材センター連絡協議会の運営** 〔予算額 600千円〕

令和3、4年度関東ブロックシルバー人材センター連絡協議会の幹事として、会議及び研修会等を開催します。

**(2) 高齢者活躍人材確保育成事業** 〔予算額 19,536千円〕

人手不足分野や現役世代を支える分野での高齢者の就業を推進するため、働くことに必ずしも意欲的ではない高齢者や高齢者の活用に消極的あるいは具体的な利用方法が分からない企業に対して、シルバー人材センターの事業を積極的に周知・広報し、就業体験や職場体験を通じてセンターに対する理解を深めていただき、高齢者がセンターに興味と自信を持って就業できるように必要な技能講習を行うことで、新規会員と新たにセンターを利用する企業を増やすとともに、新たな分野で就業を希望している又は実際の就業に今一步踏み出せない現会員に対しても就業体験及び技能講習を実施します。